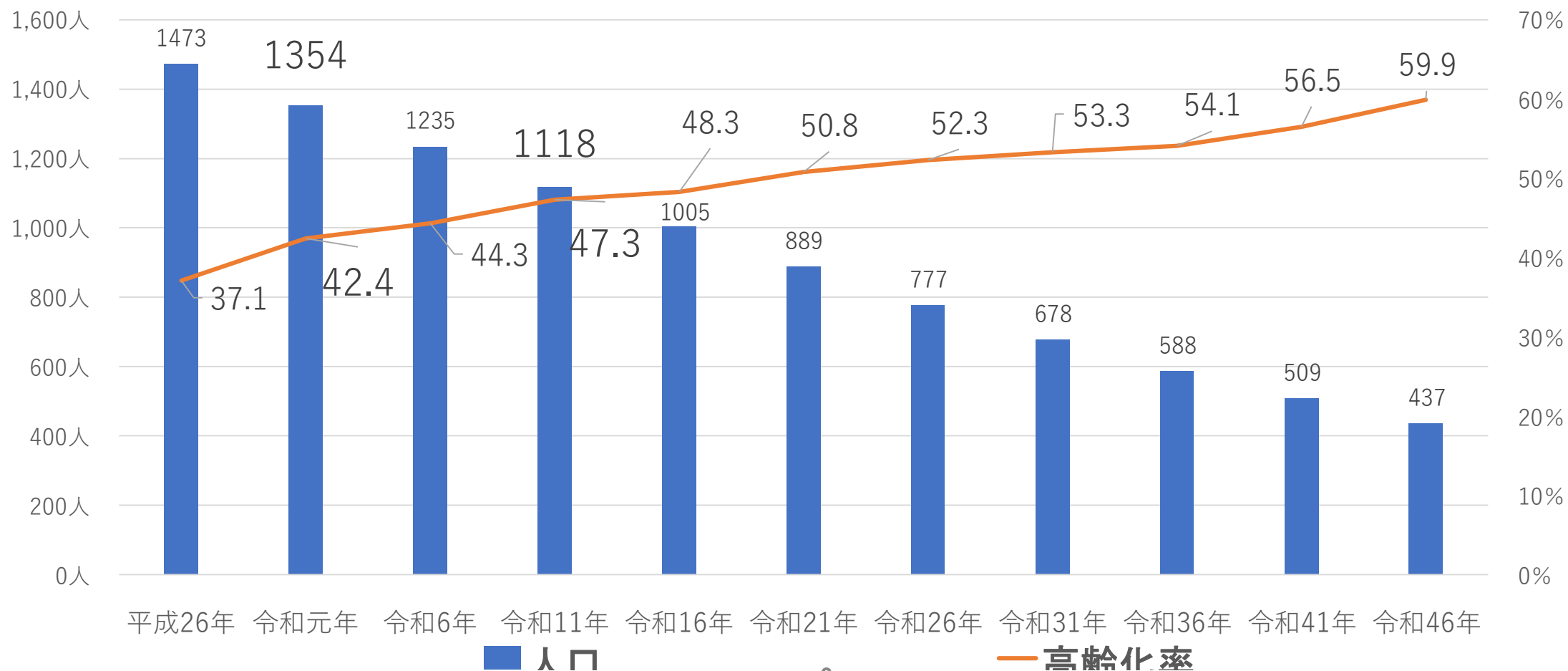


陶山地区まちづくり計画の策定

陶山地区みんなが輝くまちづくり協議会

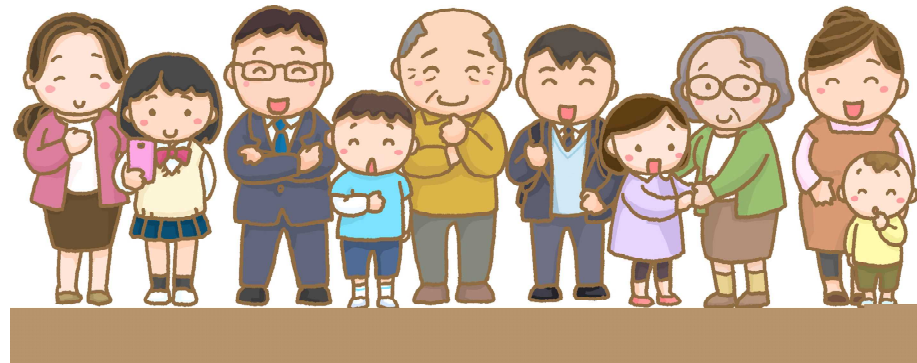
陶山地区の今後の人口予測

出典 令和元年度笠岡市まちづくり講演会発表資料
持続可能な地域社会総合研究所 所長 藤山 浩



陶山地区まちづくり計画

みんなが笑顔で暮らし元気あふれる陶山



令和2年4月 策定

陶山地区みんなが輝くまちづくり協議会

第2回ワークショップ

平成23年11月



地区懇談会

平成27年9月



陶山地区民交流会

平成29年9月



地域課題の把握のために

- | | |
|-----------------------|------------|
| (1) 第1回ワークショップ | 平成22年12月 |
| (2) 第2回ワークショップ | 平成23年11月 |
| (3) 第3回ワークショップ | 平成27年 2月 |
| (4) 地区懇談会 | 平成27年 9月 |
| (5) 陶山地区まちづくりアンケート | 平成28年11月 |
| (6) 陶山地区民交流会（4地区） | 平成29年9～11月 |
| (7) 小・中学校生徒アンケート | 令和元年 8月 |
| (8) 小・中学校保護者、消防団アンケート | 令和元年10月 |

陶山地区の現状と課題

- 少子高齢化が進み地域活力が低下
- 公共交通の縮小が進み交通手段の確保が困難
- 農業の後継者不足により耕作放棄地が拡大
- 荒廃地の増加により有害鳥獣の被害が増加
- 子どもの減少により幼稚園は休園、小学校は統廃合の問題

陶山地区まちづくり計画策定委員会

氏 名	地 区 名	備 考
佐 藤 達 海	押 撫	総務部会員
西 江 敬 一	押 撫	総務部会員
松 浦 律 子	有 田	総務部会員
吉 木 孝 文	有 田	理事
的 場 竜 雄	押 撫	理事
高 橋 信 夫	篠 坂	理事
傍 田 建 樹	入 田	理事
山 下 恭 司	有 田	公募委員
西 江 正 宏	押 撫	公募委員
林 律 子	篠 坂	公募委員
岡 田 誠	入 田	公募委員

第 1 回策定委員会

令和元年 8 月



策 定 の 経 緯

年 月 日	項 目	内 容
平成30年 4月	総務部会事業として計画	策定に着手
平成30年10月 5日	笠岡市協働のまちづくり課と打合せ	まちづくりアドバイザー小川氏指導 まちづくり計画のフォーマットを内定 名称を「陶山地区まちづくり計画」に内定
令和元年 7月	策定委員の募集	陶山地区まちづくり計画策定委員募集
令和元年 8月	アンケート調査	中学校生徒及び小学校児童
令和元年 8月29日	第1回策定委員会	陶山地区まちづくり計画策定委員会発足
令和元年 9月24日	第2回策定委員会	アンケート調査、活動目標、活動指針
令和元年10月	アンケート調査	小・中学校保護者、消防団員
令和元年11月16日	第3回策定委員会	アンケート調査
令和元年12月 7日	第4回策定委員会	素案の協議
令和元年12月24日	第5回策定委員会	素案を決定
令和 2年 1月10日	パブリックコメントの募集	素案を公表し、住民から意見を募集
令和 2年 1月31日		
令和 2年 2月15日	第6回策定委員会	パブリックコメント「実施結果」を決定 陶山地区まちづくり計画（案）を決定
令和 2年 4月13日	令和2年度総会	陶山地区まちづくり計画を決定

パブリックコメントの実施結果

公共交通問題の研究について

ご意見の要旨	陶山まちづくり協議会の考え方
陶山4地区を巡回し、市の中心部で病院、買い物等の用事を済ませるためのマイクロバスの運行を提案します。一日一便、週に1～2回、有料で構いません。 また陶山地区だけではなく、曜日ごとに各地区（新山、神島、北川、大島等）を巡回するマイクロバスの運行を市の事業として進めることを提案します。	公共交通の縮小は、特に高齢者には深刻な問題であり、その対策の研究は、以前からまちづくり協議会の交通問題研究部会で取り組んでいます。実際に運行している地区の調査や陶山地区住民のニーズ調査が必要と考えており、今後さらに研究を進めてまいります。提案のありましたマイクロバスの運行も一つ案として検討してまいります。また市の事業化の提案も併せて検討してまいります。

パブリックコメントの実施結果

地域がつながるまち会議について

ご意見の要旨	陶山まちづくり協議会の考え方
社会福祉協議会が事業主体である地域が つながるまち会議の協働に敬業会を加えて いただきたい。そのうえで、活動内容に個人 の家庭から食材を寄付していただき、必要 な人に活用してもらう「フードドライブ活 動」を取り上げていただきたい。 この活動を社会福祉協議会陶山支部と敬業 会が協働して行えば、呼びかけの範囲も広 がり、より実効性のある活動になり、これ を契機として、地域内の支え合いにとどま らず、地域住民がつながりあって行う社会 貢献活動に発展することが期待できる。	地域がつながるまち会議に敬業会が加わる ことは、活動の趣旨からみて大変好ましい ことです。社会福祉協議会陶山支部と協議 し、加わることになったら協働の欄に敬業 会を追記します。 またフードドライブ活動については、現在 すでに活動が展開されているので、敬業会 を事業主体とした活動として計画書に追記 します。

パブリックコメントの実施結果

有害鳥獣対策の実施について

ご意見の要旨	陶山まちづくり協議会の考え方
イノシシ等有害鳥獣の防止を素人が実行するのは、危険であり、人体被害が発生したら誰が責任を持つのでしょうか。住民の命と財産を守ることは、行政の使命でありこの活動は行政が取り行うべきものと思います。 まちづくり協議会がすべきことは、早期の連絡網の設置とネットワーク活動ぐらいだと思います。	有害鳥獣対策は行政だけに頼ることはできません。土地の所有者の自助努力だけでもできません。まちづくり協議会ではイノシシ対策として有害鳥獣侵入防止を図る活動を行います。そのためには、住民、まちづくり協議会、行政の協働で取り組むべきものと考えます。

目指す陶山の姿

みんなが笑顔で暮らし元気あふれる陶山



活動指針

- 地域で支え合う絆づくり
- 安全で安心できるまちづくり
- 文化を引き継ぎ豊かな自然を守る

活動項目 3 分野

- 「支え合い」
- 「命と暮らしを守る」
- 「文化を未来につなぐ」

新規活動

- ① 陶山恋恋大作戦（中期）
- ② 耕作放棄地の解消、活用（中期）
- ③ 有害鳥獣対策の実施（長期）
- ④ 防災訓練の実施（短期）
- ⑤ 防犯灯の設置（短期）
- ⑥ 陶山地区クリーン作戦（短期）

目標達成期間

- 短期 1 ～ 2 年
- 中期 3 ～ 4 年
- 長期 5 年以上

計画の推進

- 計画を推進するのは陶山地区住民である
- 住民が自分たちの住む地域をよくしていこうという気持ちが必要である
- 従来の活動に固執せず柔軟な対応が必要である
- 社会情勢や住民ニーズの変化に対応し、3年ごとに見直しをする
- みんなで助け合い、支え合って計画の推進に取り組む

ご清聴
ありがとうございました

